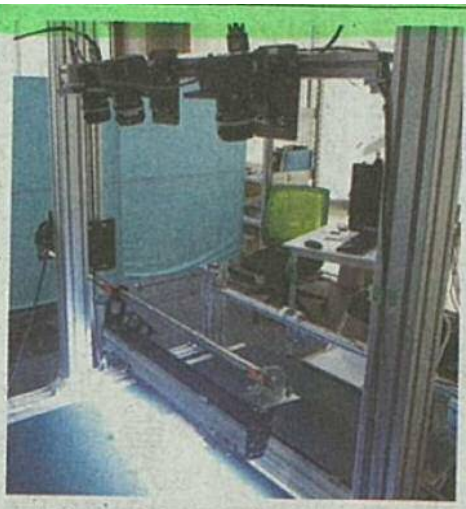
2016年4月14日　日刊産業新聞

ヒューテック・オリジン

検査装置向けの「暗視照明」開発

正確なキズ検出実現

【高松】金属表面検査装置開発・製造販売大手のヒューテック・オリジン（本社＝香川県高松市）は、自動車用鋼板の油下のキズ・スジ検出、油スジとスジを正確に区別する「暗視照明」を開発、製品化した。すでに国内コイルセンターに一号機を納入、稼働を始めている。



暗視照明を設置した画像検査装置

画像検査装置は乱反射投光器による光をカメラで受け、鋼板表面のキズなどを検査する。従来の方式では、欠陥と汚れの判別が困難となるケースや表面の油の状態によっては誤検知の生じるケースがあった。新たに開発した暗視野照明は斜光スリット板を取り付けた特殊仕様の投光器を併用、鋼板表面の状態に影響されない安定的なキズ検出を実現した。